

Berlin Report

January 2023

CONTENTS

- * Project 1: Impact Hub Berlin
- * Project 2: digitalCHURCH

1. Impact Hub Berlin

Project Overview

ビール工場の跡地に生まれたサーキュラーエコノミー（循環型経済）コミュニティスペース「CRCLR House」。通常ならば廃棄されるはずの“ゴミ”をリサイクル、アップサイクルして造られたこの建物は、未来の建築として注目されている。今年からサステイナブルな企業・スタートアップのネットワーク、サポートを行う「Impact Hub」ベルリンがここに拠点を置き、改装を経て新たなスタートを切った。

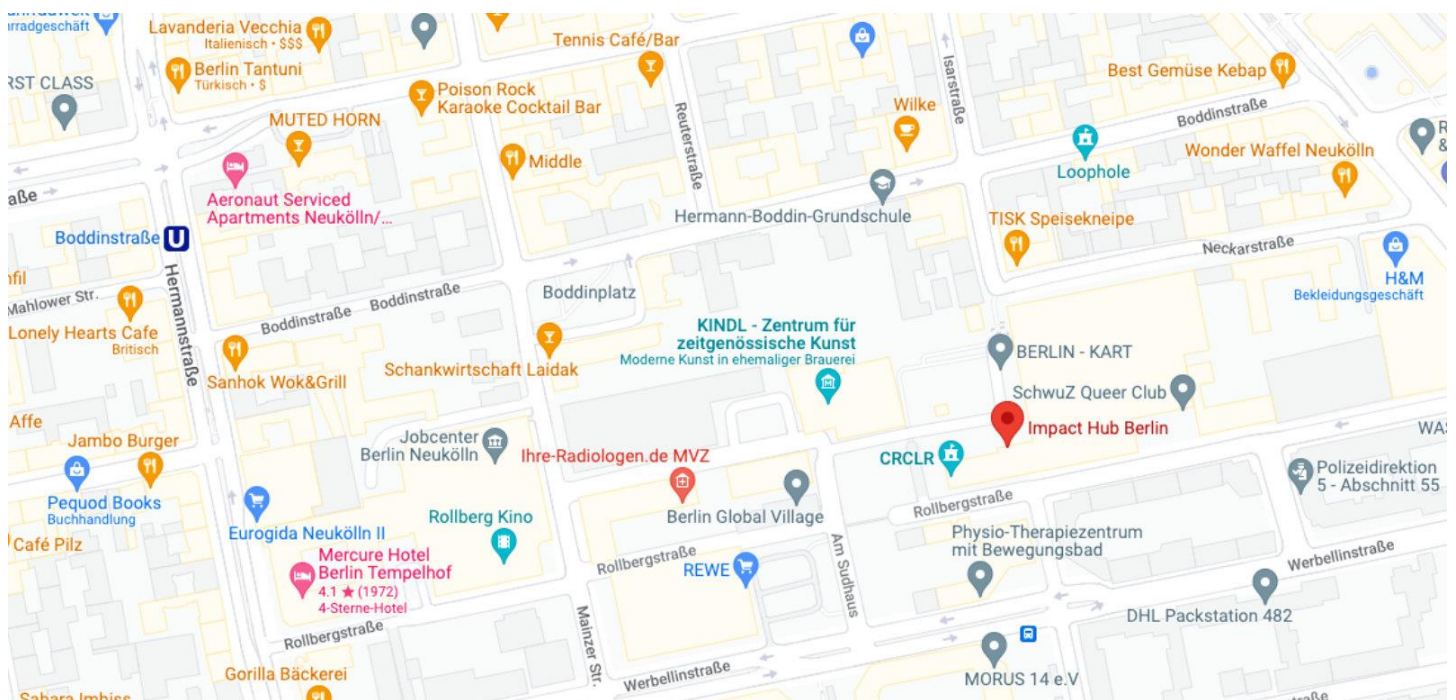
この建物のコンセプトはレセプションから伝わってくる。大きなビスが目立つ梁と剥き出しのレンガ。ビール工場が壊された後に残っていた木や鉄骨などの建材を再利用するだけではない。大きな特徴は、接着せずビス止めする、またセメントで塗り込めるのではなくはめ込む、といった手法を使うこと。リサイクル素材を使うだけでなく、この建物が今後改築や撤去される場合でも解体しやすく、また、新しく次の建築物に利用しやすくなるという。家具も流行に左右されないシンプルなデザインで、使い回しがきく規格のものをセレクト。空間自体も、オープンだが、透明や半透明、不透明の窓や壁を効果的に取り入れることでゾーニングしている。いまの建築を建てながら、明日の建築を考える。循環型建築のさらなる発展に期待したい。German Design Award 受賞。

Project Details

(Photo:Gianni Plescia)

1. Client: Impact Hub Berlin GmbH
2. Type of Business: Coworking Spaces
3. Open Date: 24/06/2022
4. Location: Rollbergstrasse 28A, 12053 Berlin
5. Size: 1780 m2
6. Architekt: LXS Y Architekten
7. Website: <https://berlin.impacthub.net/>

Location Map





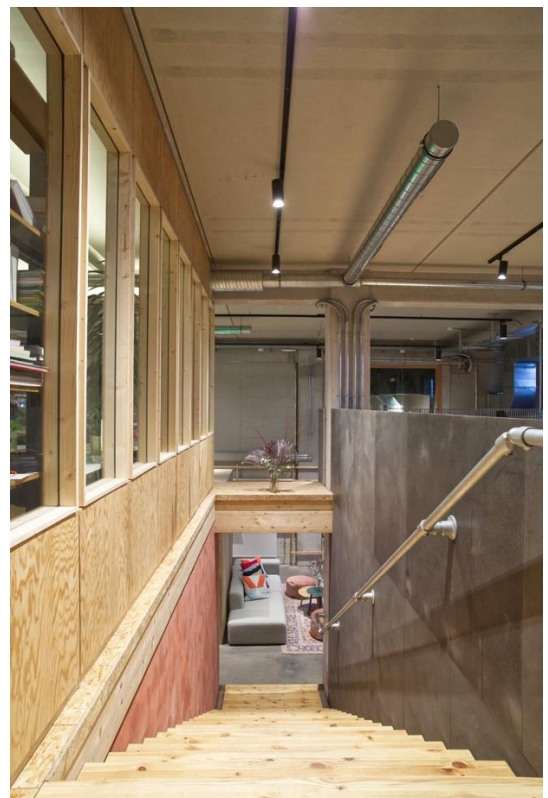
上：煉瓦を積んで作ったレセプション。梁や木繊維の断熱材もあえて剥き出しに。上階のスタッフルームは仕切られているが窓は透明。



上：中心には木で2階建てのコア空間を作成。階段はワークスペースにも。1階のカフェは会員以外も入ることができる。

下右：素材、建材の約7割がアップサイクル、サステイナブルな素材。黒いMDFボードは閉業したクラブから引き取った。

下左：洗面台も簡易な組み立てで作っている。





上：スタッフルームは窓を透明に。格子状の金属パネルは交通局の工事現場で使われていたもの。下：電話ボックスや個室はドアを不透明に。ミーティングルームのドアは半透明。大きなソファは荷物置き場にも。固定していないのでイベントの際など、移動も簡単だ。



2. digitalCHURCH

Project Overview

ドイツ初の教会内コワーキングスペースとして有名なアーヘンの digitalCHURCH。ドイツに数多くある教会だが会員数は年々減少の一途をたどり、資金は決して潤沢ではない。この聖エリザベス教会も2002年に閉鎖を余儀なくされていた。20世紀初頭に建てられたゴシック様式の建物自体は文化財保護下にあり、街の中心部で交通の便もいいなどの理由から、ホテルや展覧会会場などに使われたこともある。しかし教会空間は断熱や温度管理が難しく、音響の問題もあった。そこで、ベルギー・オランダ国境に近いという立地も生かして、ここにデジタル・イノベーションの拠点を作るというアイデアが生まれた。最大100名まで収容できる広いワークスペース。入り口と礼拝堂の部分をガラス戸で仕切ることによって断熱効果をあげ、隣接する部屋にはボイラーを取り付けた。巨大な空間を生かして長いテーブルを中央に。サイドの柱の間には半個室のワークスペースを設けた。祭壇があったシンボリックな場所はバーに生まれ変わり、大学生やスタートアップのメンバーにも人気が高い。

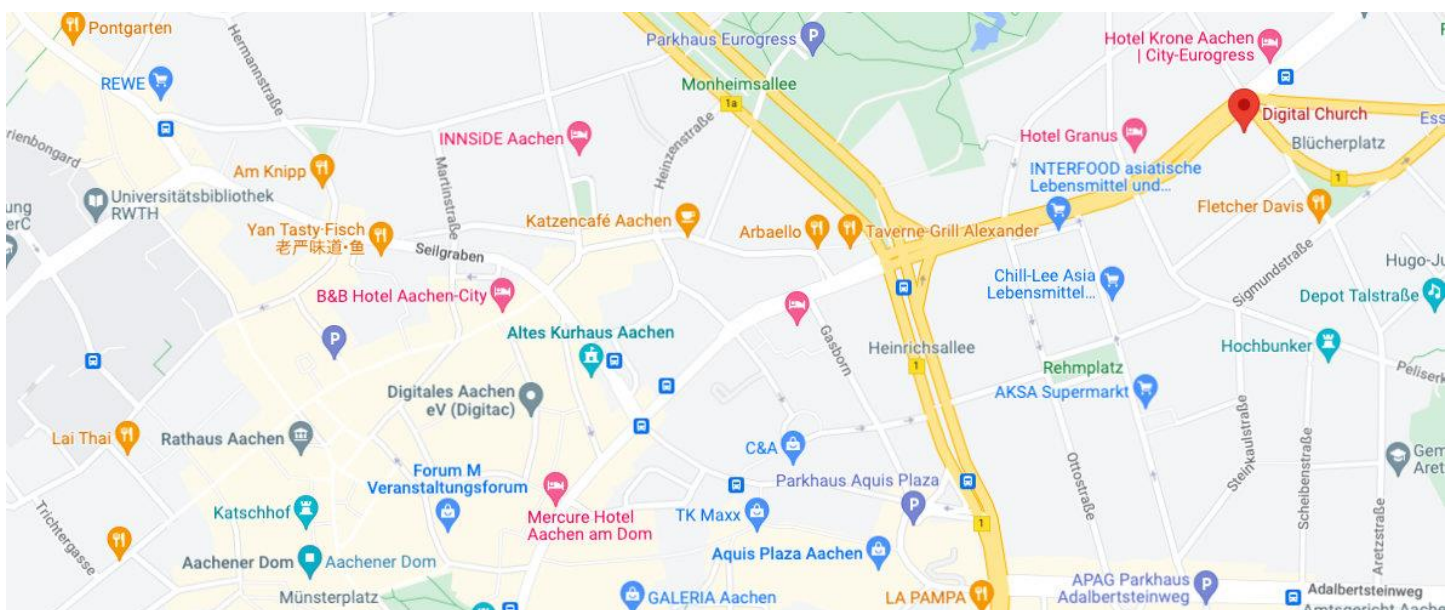
中世～近代まで街の中心にありコミュニティの重要な交流の場として、また神の家として当時の技術の粋を集め資金を注ぎ込んで作られた教会建築は、空間として様々な可能性を秘めている。digitalCHURCHの成功により新しい活路が見出されたようで、欧州各地で様々な教会建築再生プロジェクトが進められている。

Project Details

(Photo:Gianni Plescia)

1. Client: digitalHUB e.V.
2. Type of Business: Coworking Spaces
3. Open Date: 07/07/2017
4. Location: Jülicher Strasse 72A, 52070 Aachen
5. Size: 1000 m2
6. Architect: Horst Fischer
7. Website: <https://aachen.digital>

Location Map





上：1907年に完成したカトリック教会。祭壇があった少し高くなっている場所そのまま生かして、バー&Meetupの場に。



上：ホテルとして使われていた際に作られたボックス状の空間は会議室に。柱と呼应するように半個室のワークスペースを設置。下右：小さなチャペルをそのままコージーなカフェに。下左：講壇はいまも使うことが可能。気分が上がる！とイベント時にはここで発表を行う人もいそう

